

2024年10月25日

株式会社 千葉銀行

有限会社橋建設向け「ちばぎんSDGsリーダーズローン」の取組みについて

千葉銀行(頭取 米本 努)は、有限会社橋建設(代表取締役 荒井 裕之、本社:千葉県千葉市)に対して、「ちばぎんSDGsリーダーズローン(サステナビリティ・リンク・ローン型)」を取り組みましたのでお知らせします。

「ちばぎんSDGsリーダーズローン」は、サステナビリティ経営を積極的に実践しようとする事業者さまが、事業規模や経営実態に合わせて有効な目標等を設定する融資制度です。

貸出先の有限会社橋建設は、リフォームを中心に、新築や塗装、解体などの工事の施工および施工管理を手掛けています。水回りから、外装、耐震補強、オール電化、バリアフリー化にいたるまで、多様なリフォーム商材を擁し、機能性の高い住環境を実現する体制を構築するほか、豊富な経験と高い技術力に定評があり、取引先からの信頼も厚く、着実に業容を拡大しています。同社は、「適正な工事を安心の品質で」の理念のもと、安心・安全な工事の施工を通じて、人々の豊かな生活の実現と地域社会の住環境の向上に貢献しています。また、環境負荷の軽減に向けて、事務所内照明のLED化や自社で保有する車両のハイブリッド車両への入れ替えを進めているほか、今後は中古住宅のリノベーション販売事業を展開し、空き家対策に取り組んでいきます。

今回、SDGs達成の取組みとして、自社の事業活動における二酸化炭素排出量の削減目標を策定しました。目標達成時には当行が金利を優遇することで、お客さまの目標達成に向けた動機付けを行い、お客さまのサステナビリティ経営を後押しします。

当行は今後もグループ一体となって、サステナブル・ファイナンスを提供することで、お客さまや地域社会のパートナーとして、社会・環境問題の解決に資する取組みを一層推進し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

【案件概要】

貸出先	有限会社橋建設	資金使途	運転資金
契約締結月	2024年9月	融資金額	100百万円
融資形態	証書貸付	第三者評価機関	株式会社ちばぎん総合研究所

【本件のSPTs^{※1}について】

設定内容	目標内容
二酸化炭素排出量の削減率	2032年度までに2023年度 ^{※2} 比▲24.3% (各年度のSPTは下表の通り)

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度
▲2.7%	▲5.4%	▲8.1%	▲10.8%	▲13.5%	▲16.2%	▲18.9%	▲21.6%	▲24.3%

※1 SDGs・ESG戦略における事業挑戦目標(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)

※2 2023年度(2023年4月~2024年3月)の二酸化炭素排出量実績 61.342(t-CO2)

以上